

第2回学校運営協議会資料4

熟議「コロナ禍、温暖化の中で行う学校行事の見直し」

1 目的

新型コロナウイルス感染症への対応から当面の間、三密（密閉，密集，密接）を回避するような取組が必要であるとともに，地球温暖化に伴う熱中症対策を講じた上での実施が求められていることから，各学校において地域の実態等を踏まえた新たな方法での学校行事の実施が求められている。

2 主な行事

(1) 体育祭

- ①例年の開催時期 8月最終週の土曜日または，9月第1週の土曜日
- ・ 5月下旬 地区中総体（格技・球技）
 - ・ 6月中旬 地区中総体（陸上）
 - ・ 6月下旬 地区中総体（水泳），市P連バレーボール大会
 - ・ 7月上旬 定期テスト，成績処理
 - ・ 7月中下旬 県中総体
 - ・ 9月中旬 地区中総体（駅伝）
 - ・ 9月下旬 地区中総体新人大会
- ②問題点 気温が高く，熱中症の心配がある。→ 今年度は40℃以上
- ③改善の方向性 涼しくなる10月第1週へ移動予定（半日開催）
- (案1) 可能であれば，10月第1週日曜日開催の地区民運動会と合同
- ・ 生徒，保護者が1回の運動会への参加ですむ。（負担軽減）
 - ・ 地域の活性化につながる。
 - ・ 生徒の活躍の場，地域の方々とのふれあいの場になる。
 - ・ まずは津谷地区から行い，やがて小泉地区も参加できるようにする。
 - ・ プログラムを工夫し，午後1時頃までに終わらせるか，昼食を入れて2時半頃までにするか。
 - ・ 公民館と何度か話し合いを持って決めていく。
- (案2) 令和3年度，10月第1週土曜日が津谷中体育祭
日曜日が地区民運動会

(2) 文化祭

- ①例年の開催時期 10月最終週またはその前の週の土曜日
- ②問題点
- ア 体育祭の時期を考慮した上で，準備期間が約1ヶ月間は必要である。
 - イ 合唱の際には，間隔を取ることが必要。
 - ウ 保護者の参観については，人数を考慮する必要がある。
- ③改善の方向性
- ア ステージ発表を切り離し，はまなすホールを使用して行う。
※合唱その他 → 保護者の収容人数を多くできる。
 - イ 展示発表については，参観日に合わせて1週間程度学校で行う。